

資料①—1、気候変動が危機的状況 (8月6日ブログに記事のリンク集あり)

- ・グテーレス国連事務総長、過去最も暑い7月、気候変動に関して警告
- ・熱中症1万8,347人搬送 前週の3倍超、日本国内死者57人(7月29日~8月4日1週間)
- ・アマゾンの熱帯雨林で観測史上最多の火災、気候変動に影響
- ・北極圏で森林火災相次ぐ 国連「前代未聞の事態」
- ・ヨーロッパ各地に熱波襲来 40度超えも
- ・米、中西部から大西洋岸に猛暑 NY で非常事態宣言 イベント中止相次ぐ
- ・インド、熱波の死者100人超す 温暖化進めば生存の限界に到達も
- ・寒いはずの北極で「山火事」頻発、過去最悪の異常事態
- ・気候変動による損失は「5年で100兆円超」
- ・人類はいかに地球を変えてきたのか、23枚の写真で知る→動物の生息地も縮小している。
今後50年で、1700種の両生類、鳥類、哺乳類が絶滅の危機にさらされる。
- ・温暖化で穀物価格23%上昇 国連IPCC、2050年見通し警告
- ・これはSFではなく現実。北極圏で氷が溶けていることを伝える17枚→世界最大の島、グリーンランドの氷床がかつてない規模で解けている。6月から7月にかけて欧州各地は熱波に襲われたが、北極圏のグリーンランドでも1日に110億トンを超える氷が融解した。

資料①—2、「気候崩壊」から世界救う最終判断を=地球温暖化報告書

- ①肉、牛乳、チーズ、バターの購入を控え、地元で採れた旬のものを購入しこれらが無駄にしない
- ②電気自動車を運転する。ただし、短い距離は徒歩で行くか自転車を利用する
- ③飛行機の代わりに電車やバスを使う
- ④出張の代わりにビデオ会議を活用する
- ⑤洗濯物を乾かす際には、回転式衣類乾燥機でなく物干しを使う
- ⑥住宅を断熱処理する
- ⑦消費財すべてに低炭素を求める日本は食料廃棄率は世界一位

資料①—3、食糧廃棄率は世界1位

- ・1秒間に688kgが食べ残されて生ゴミとなっています。
- ・年間食品廃棄量は食料消費全体の2割の約1,800万トン。売れ残りや期限切れの食品、食べ残しなど食べられたはずの「食品ロス」は500万トン~800万トン。
- ・飢餓が原因で1日に4~5万人(年間1500万人以上)の人が世界で亡くなっており、そのうち7割以上が子どもたち。
- ・日本は世界中から5800万トンの食品を輸入。そのうち1940万トンを捨てている(年間5,000万人が生活出来る量)1940万トンの内、家庭から廃棄される食料は1,100万トン。
- ・人口→アメリカ3億1,415万9,265人、日本1億2,779万人
- ・食料廃棄量→アメリカ3,300万トン(1人105kg)、日本1,940万トン(1人152kg)
- ・廃棄金額→アメリカ年間13兆円、日本年間11兆円

日本は「大量生産大量消費大量廃棄国家」。環境問題において世界から非難されている国民だと言うことを我々は認識しなければならないと思います

資料①—4、グレタ・トゥーンベリさんによる COP24 でのスピーチ

私はグレタ・トゥーンベリといいます。15歳です。スウェーデンから来ました。「クライメート・ジャスティス・ナウ」の代表として演説しています。

スウェーデンは小国なので、私たちが何をしようか問題ではないと言う人がたくさんいます。でも私は、どんなに小さくても変化をもたらすことができると学びました。

もし、たった数人の子どもが学校へ行かなかただけで世界中の注目を集めることができるのなら、私たちが真に望めば力を合わせて何ができるかを想像してみてください。しかしそのためには、それがどんなに不快なことであっても、はっきりと発言しなければなりません。

あなた方は人気低落を恐れるあまり、環境に優しい恒久的な経済成長のことしか語りません。非常ブレーキをかけることだけが唯一の理にかなった対策なのに、あなた方は私たちをこの混乱に陥れた、あの悪いアイデアを推進することしか口にしません。

それは大人気のない発言です。その重荷をも、あなた方は私たち子どもに負わせているのです。でも私は人気取りのことは考えません。私は気候の正義と生きている惑星のことを考えます。

私たちの文明は犠牲にされています。ごく少数の人たちが莫大なお金を稼ぎ続ける機会のために。私たちの生物圏は犠牲にされています。私の国のようにお金持ちの国の人たちがぜいたくな生活をするために。その苦しみは、少数の人のぜいたくのために、多くの人たちが払う代償なのです。

2078年に、私は75歳の誕生日を迎えます。もし私に子どもがいたら、一緒に過ごしているでしょう。子どもたちは私にあなた方のことを尋ねるかもしれません。まだ行動できる時間があるうちに、なぜあなた方は何もしなかったのかと。

あなた方は、自分の子どもたちを何よりも愛していると言いながら、その目の前で、子どもたちの未来を奪っています。

政治的に何が可能かではなく、何をやる必要があるのかに目を向けようとしない限り、希望はありません。危機を危機として扱わなければ、解決することはできません。

化石燃料は地中にとどめ、公正さに目を向けなければなりません。この制度の中で解決することがそれほど難しいのであれば、制度そのものを変えるべきなのかもしれません。

私たちは、世界の指導者たちに相手にしてほしいと懇願するためここへ来たのではありません。あなた方はこれまでも私たちを無視してきました。そしてこれからも無視するでしょう。

私たちは言い訳を使い果たし、時間も使い果たそうとしています。

私たちは、あなた方が望もうと望むまいと、変化は訪れると告げるためにやって来ました。真の力は人々のものなのです。

ありがとうございました。